

モーターサイクル用ヘッドセット

HD-BT1 (受信専用モデル)

HD-BT3 (送受信モデル)

取扱説明書

このたびは、ユピテルのモーターサイクル用ヘッドセットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあと、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

6551444-A

この取扱説明書（以下本書）は、HD-BT1 および HD-BT3 共通のものとなっています。モデルによって説明が異なる部分に **HD-BT1** または **HD-BT3** が記載されていますので、お買い上げいただいたモデルに該当する部分をお読みください。

- 弊社バイクナビに接続可能！
ナビの音声案内をクリアに聞くことができます。
初めての道やロングツーリングもラクラク。
- **HD-BT3** ペアライダーや仲間と会話が可能なトランシーバー機能！
半径 100m 内（見通し距離）の Bluetooth 搭載ヘッドセットとハンズフリーで会話ができます。
- **HD-BT3** ハンズフリーで携帯電話の着信に応答可能！
半径 10m 内（見通し距離）にある、ポケットや鞆の中の Bluetooth 搭載携帯電話を 2 台まで接続できます。

■ 突然の雨にも安心な防雨構造！

- その他 Bluetooth 搭載機器と接続可能！
音楽プレーヤー等と接続可能です。接続できる台数や機器の種類については、「3 ペアリングをする」をご覧ください。
(**HD-BT1**) は受信専用モデルです。音声発信を伴う接続の場合は、(**HD-BT3**) をご使用ください。
※本機は SCMST（著作権保護）によるコンテンツ保護に対応しています。

- 電源は入手カンタンな乾電池！
単 4 形乾電池を採用。出先で突然電池切れになっても容易に電池を入手できます。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。
安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **警告：**警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。
- ⚠ **注意：**注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

- ❗ 運転中の携帯電話を含めた通信機器の操作は、おやめください。
- ❗ 過大な音で、鼓膜の損傷や聴力の低下を招くことがあります。適度な音でご使用ください。
- ❗ 危険および事故防止のため、運転中は周囲の音をはっきりと聞こえる音でご使用ください。
- 🚫 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。
- 🚫 破裂、発火や火傷の原因となりますので、直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用したり、放置したりしないでください。
- 🚫 発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となりますので、本機の分解、改造、修理をしないでください。行われた場合、修理をお受けできない場合があります。
- ❗ ご使用中に雷が発生した場合は、ただちに使用を中止して電源を切ってください。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 🚫 心臓ペースメーカーをはじめとする医療機器の近くで使用しないでください。それらの医療機器をお使いの場合は、機器のメーカーや販売店に電波による影響等についてご相談ください。
- 🚫 航空機内では使用しないでください。電波の影響で事故の原因となる場合があります。
- ❗ 運転や境界の妨げにならない場所に取り付け・配線をしてください。誤った取り付けは危険発生や交通事故の原因となります。
- 🚫 コードを傷ついたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

注意

- ❗ 小さいお子様がお使いになる場合は、保護者が安全で正しく使えるように、指導してください。
- ❗ 都道府県によっては条例で運転中のヘッドセットの使用が制限されていることがあります。地域の法令・条例をご確認ください。
- 🚫 異常状態のまま使い続けしないでください。少しでも異常を感じた場合は、販売店にご相談ください。
- 🚫 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。
- 🚫 破損や故障の原因となりますので、本機をつかんヘルメットを持ち上げないでください。
- 🚫 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ヘルメットへの取り付けについてのご注意

- ❗ 誤った取り付けは故障や走行中の脱落の原因となりますので、正しく取り付けてください。
- ❗ スピーカーを不適切な位置に取り付けると、振動や転倒時に耳が負傷することがありますので、適切な位置に取り付けてください。
- 🚫 ヘルメットの改造は絶対にしないでください。
- 🚫 ハーフキャップタイプのヘルメットには取り付けることができません。

使用電池についてのご注意

- 🚫 マンガン乾電池も使用できますが、使用可能時間が短くなります。
- 🚫 新品と使いかけ乾電池を同時に使用したり、ブランドが異なる乾電池を同時に使用しないでください。
- 🚫 電池の極性（+、-）を正しく入れて下さい。
- ❗ 同梱品の乾電池は、動作確認用のサンプルです。短時間の使用しかできませんので、お早めに新品電池と交換してください。
- ❗ 乾電池からの液漏れを防止するため、長期使用しない場合は乾電池を取り外してください。

防雨についてのご注意

本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）」の「水の浸入に対する保護等級」である IPX3(※1) 相当の防雨仕様（※2）となっています。
(※1) 鉛直から両側 60 度の範囲の噴霧した水によって有害な影響がない。
(※2) 本機は、電池カバーをしっかりと閉じ正しくロックされている状態で IPX3 防雨仕様を有しています。

- 🚫 連続した雨中での使用は避けてください。
- 🚫 故意に水中に落下させたり、水中で使用したりしないでください。
- ❗ 手が濡れているときや、本体に水滴がついている時は、電池カバーの開閉はしないで下さい。
- ❗ 水に濡れた後は、乾いた清潔な布で、水滴を拭き取って下さい。
- ❗ お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ 誤った使いかたをすると内部に水が入り、感電、故障の原因となる恐れがあります。

電波法について

本機は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。
■ 本機の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
■ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
■ 海外では使用しないでください。



周波数・電波干渉について

本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。この周波数帯は、産業・科学・医療関係機器、各種無線局や無線 LAN など（以下「他の無線局」）にも使用されています。
ご使用中に「他の無線局」との電波干渉が発生した場合は、ご使用場所を変更するか、本機の使用を中止（電波の発信を中止）してください。

Bluetooth について

携帯電話やパソコンをはじめとするデジタル機器間で行う無線通信の規格です。赤外線通信のように機器同士を向かい合わせる必要がなく、接続機器との間に障害物があっても通信可能です。

Bluetooth は、特性上様々なデジタル機器間で接続できるようになっており、機器の種類によって「プロファイル」と呼ばれる接続規定が設けられていますが、接続できるのは「プロファイル」が同じ場合のみとなります。本機で使用している「プロファイル」は次のようになっています。

バイクナビ、音楽プレーヤー	
A2DP (SCMST 対応)	Advanced Audio Distribution Profile ステレオ音声を高音質で伝送する。
携帯電話	
HSP HD-BT3	Headset Profile Bluetooth 搭載ヘッドセットとの間でモノラル音声受信＋マイク音声送信の双方向通信を行う。
HFP HD-BT3	Hands-Free Profile HSP の機能に加え、ヘッドセットでハンズフリーの発信・着信の機能を持つ。 (HSP と HFP とでは、HFP が優先されます。)

別の HD-BT3 および Bluetooth 搭載ヘッドセット	
AGHFP HD-BT3	Audio Gateway Hands-Free Profile 同種複数の機器の中から特定の機器を接続する機能を持つ。

⚠ プロファイルが同じでも、まれに接続できない機種があります。

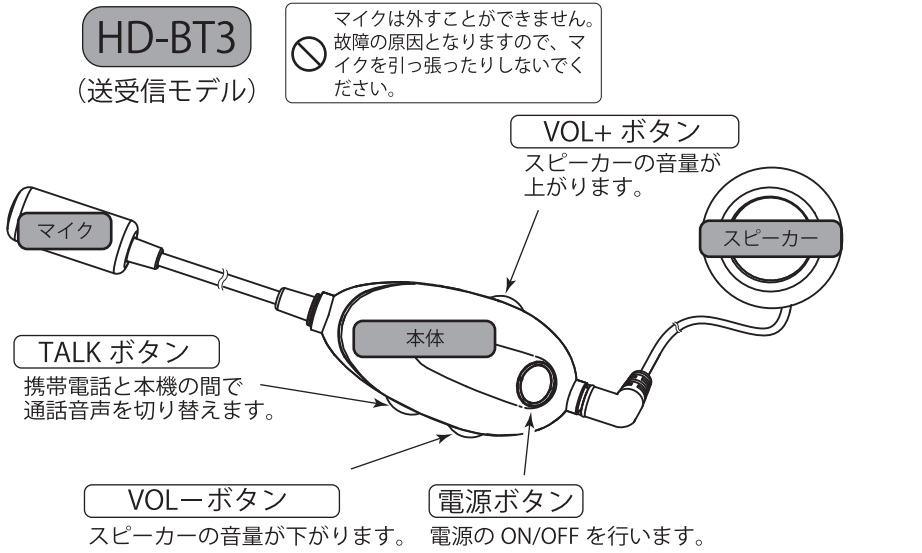
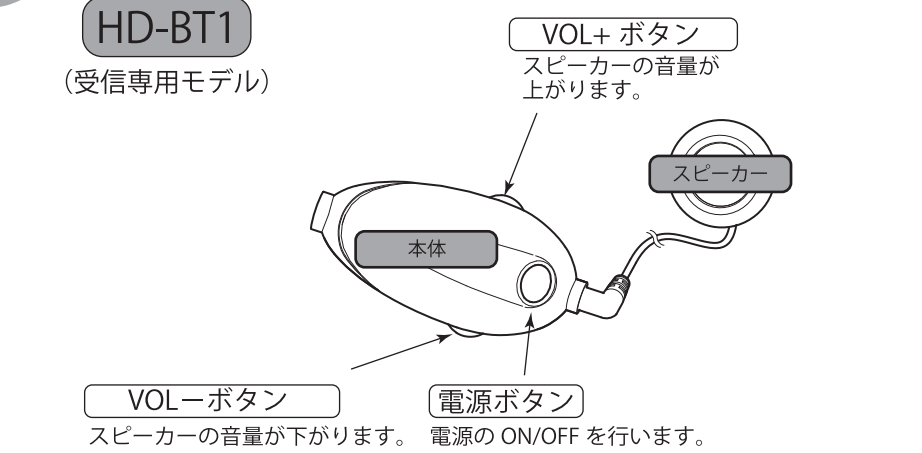
Bluetooth 自体にもバージョンが存在します。この製品で使用されているバージョンは 2.1 です。バージョン 2.1 以下の Bluetooth 搭載デジタル機器と接続できます。

同梱品

- ・本体 **HD-BT1** **HD-BT3**
- ・スピーカー
- ・スピーカー取り付け用スパーサー (2 個)
- ・スピーカー取り付け用マジックテープ
- ・取り付け用クリップ
- ・保護シート

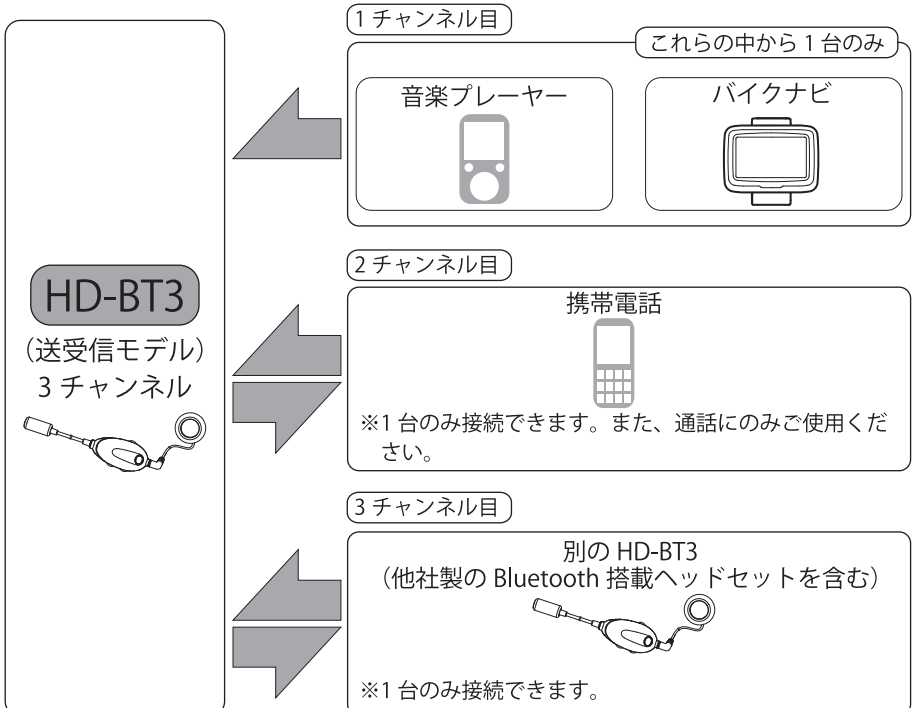
- ・単 4 形アルカリ乾電池 2 本
- ・取扱説明書／保証書（本書）

各部の名前と働き



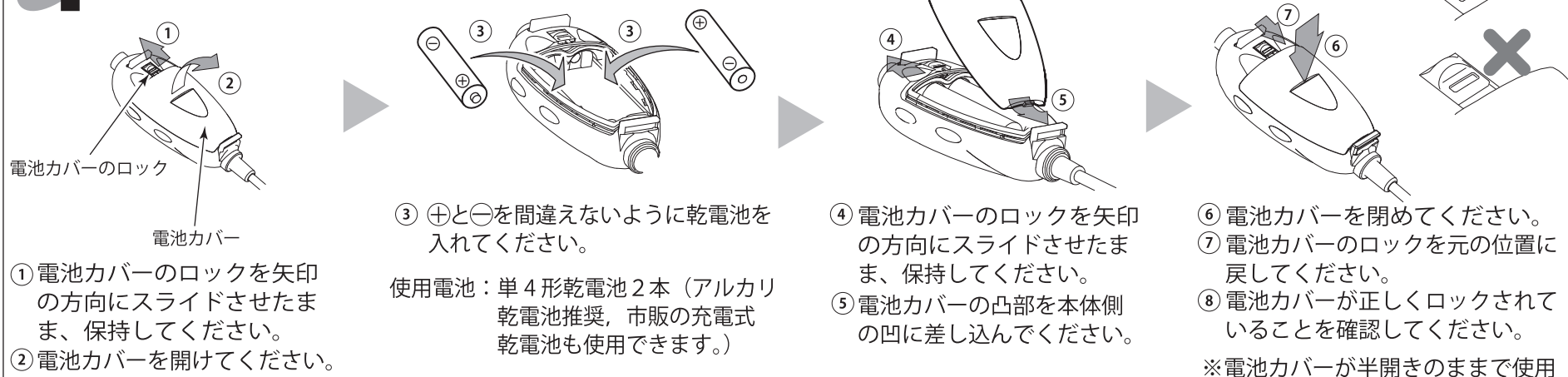
ペアリングをする

接続を行う Bluetooth 搭載機器同士で、あらかじめ登録を行うことをペアリングといいます。ペアリングは、一度行えば同じ機器に対して行う必要はありません。



※ペアリングできる機器の台数を超えてペアリングを行うと、最初にペアリングした機器のペアリング情報が削除されます。

乾電池を入れる

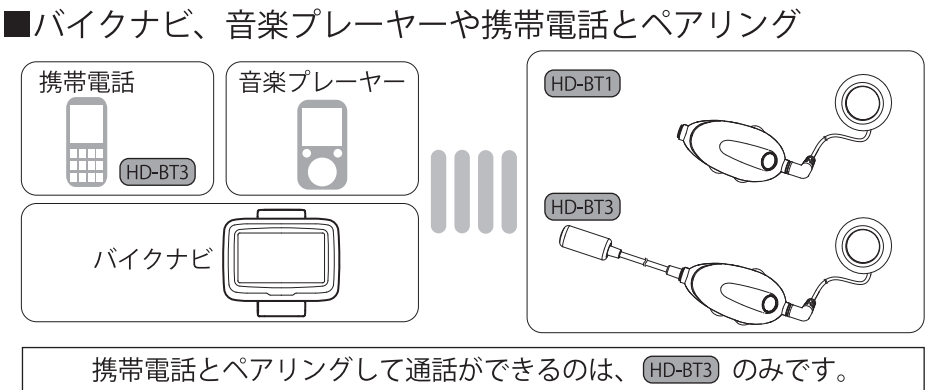


電源を入れる / 切る

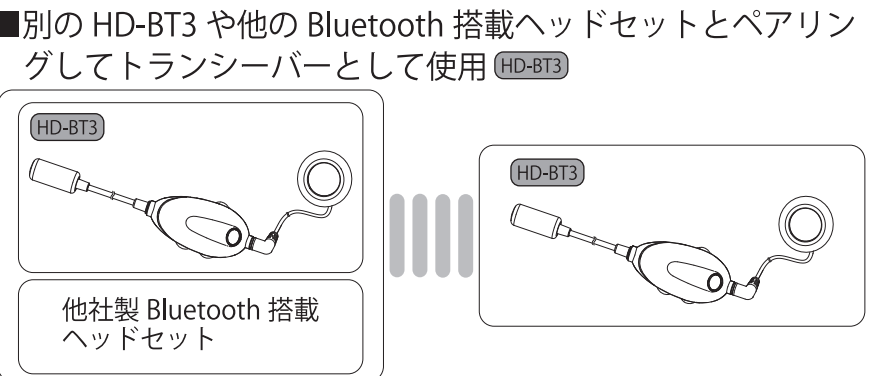
電源ボタンを 4 秒以上押し続けてください。電源が入ると、接続しているスピーカーから「ピー」という音が鳴り、青色 LED が 3 回点滅します。
・この後、青色 LED が 5 秒に 1 回点滅します。
※ 青色・赤色 LED が交互に点滅するまで電源ボタンを押した場合は、一度電源を切ってから再び電源を入れてください。

電源を切る

電源ボタンを 3 秒以上押し続けてください。赤色 LED が 4 回点滅し、接続しているスピーカーから「ピー」という音が鳴り、電源が切れます。
AutoPowerOff 機能 **HD-BT1**
ペアリング後に本機と接続機器が接続範囲外に離れ、約 10 分経過すると AutoPowerOff 機能により、自動的に電源が切れます。
接続範囲内に戻り、再び電源を入ると接続状態に戻ります。



- バイクナビ、音楽プレーヤーや携帯電話とペアリング
同時に接続できる機器の種類と台数は、以下の通りです。
HD-BT1 (受信専用モデル) 1 チャンネル
音楽プレーヤー、バイクナビ (これらの中から 1 台のみ)
HD-BT3 (送受信モデル) 3 チャンネル
携帯電話、別の HD-BT3 (他社製の Bluetooth 搭載ヘッドセットを含む) (※1 台のみ接続できます。また、通話にのみ使用ください。)
※1 台のみ接続できます。
- バイクナビ、音楽プレーヤーや携帯電話とペアリング
同時に接続できる機器の種類と台数は、以下の通りです。
HD-BT3 (送受信モデル) 3 チャンネル
携帯電話、別の HD-BT3 (他社製の Bluetooth 搭載ヘッドセットを含む) (※1 台のみ接続できます。また、通話にのみ使用ください。)
※1 台のみ接続できます。



- この手順は、2 台の HD-BT3 の間でペアリングを行う場合の手順です。他の Bluetooth 搭載ヘッドセットのペアリング手順については、その機器の取扱説明書も併せてご確認ください。
2 台の HD-BT3 をそれぞれ [A] と [B] として説明します。どちらが A でも B でもかまいません。
- ① 2 台を同時に扱える距離に近づけて、両方の電源を入れてください。
- ② [A] 赤色 LED が点灯するまで VOL+ ボタンを押し続けてください。
- ③ [B] 赤色・青色 LED が交互に点滅するまで VOL- ボタンを押し続けてください。
- ④ ペアリングが完了すると、「ピッ」という音が鳴り、本機の青色 LED が 2 回点滅後、赤色 LED が 1 回点滅し、そのあと青色 LED が 1 回点滅します。
- ⑤ 本機の青色 LED が 10 秒に 1 回点滅します。（携帯電話ともペアリングされている場合は 10 秒に 2 回点滅します。）これで登録完了です。

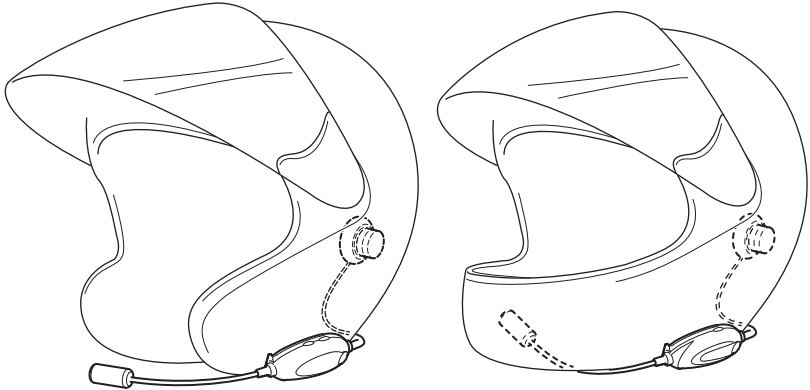
4 ヘルメットへの取り付け

同梱品の取り付け用クリップを使い、ヘルメット左側に取り付けてください。

※図は **HD-BT3** ですが、取り付け方法は **HD-BT1** も同様です。

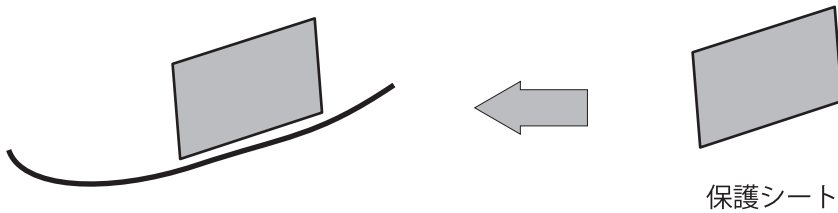
<取付けイメージ>

フルフェイス、ジェット、オープンタイプおよびオフロードタイプのヘルメットに取り付けることができます。
※スピーカーはヘルメットの内側に取り付けます。



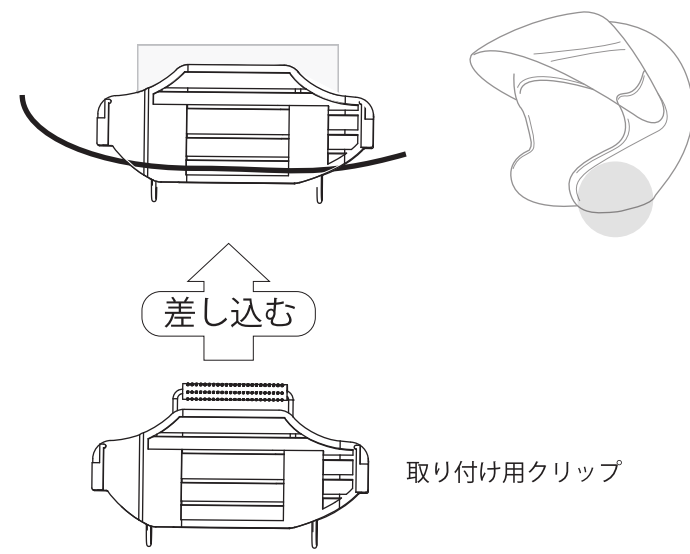
① 取り付け用クリップを取り付ける位置に保護シートを貼り付けてください。

※あらかじめヘルメットの汚れや脂分をよく落としたあと慎重に貼り付けてください。
※貼りなおしはテープの粘着力を弱め剥れる恐れがあります。



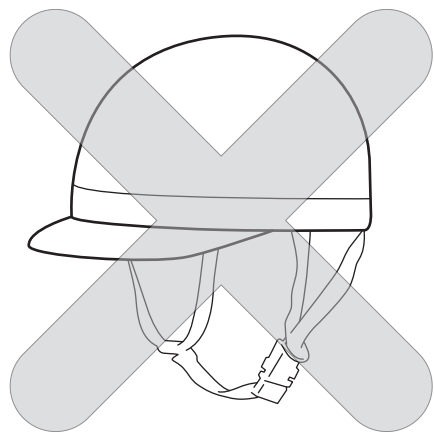
② ヘルメットに貼り付けた保護シートの上に取り付け用クリップがくるように取り付けてください。

※差し込む際に、貼り付けた保護シートが剥がれないように注意してください。
※取り付けは確実に行ってください。落ちたりして事故の原因となります。

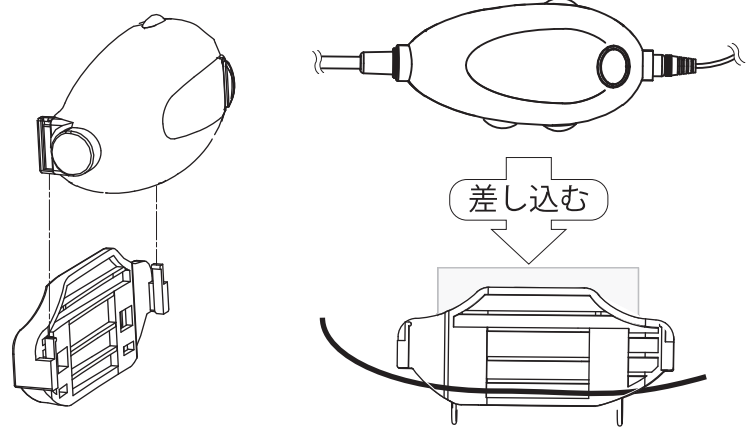


<ハーフキャップタイプには取り付けことはできません。>

※その他、交通法規で使用が認められていないヘルメットには、取り付けことはできません。

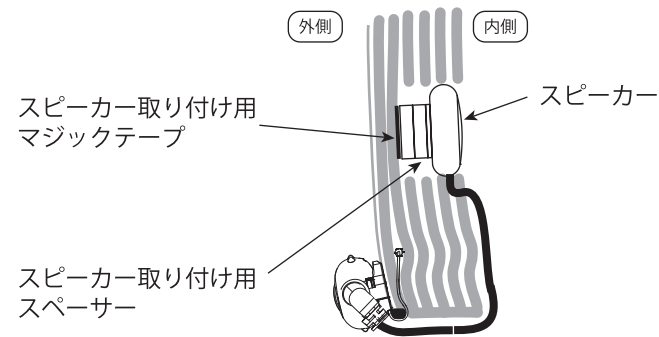


③ 取り付け用クリップの溝に本体の溝が嵌まる様に差し込んでください。

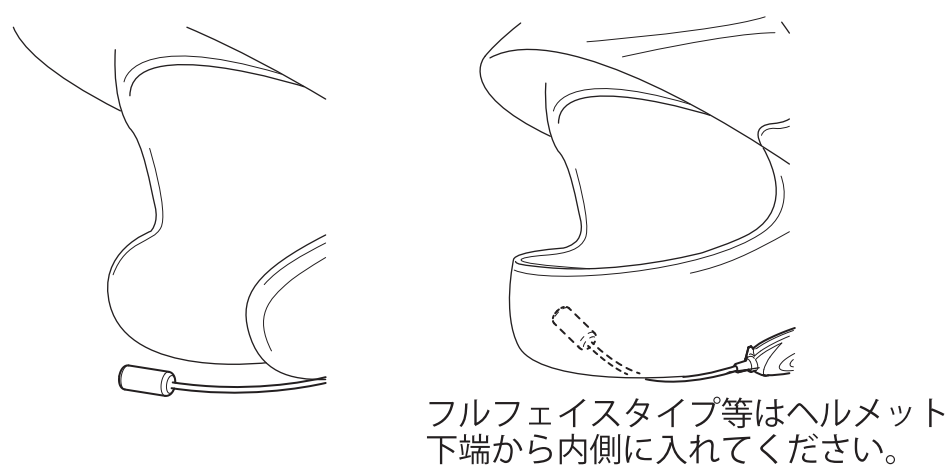


※「カチッ」という音が聞こえるまで、差し込んでください。

④ スピーカーをヘルメット内側にスピーカー取り付け用マジックテープを使って固定します。ヘルメットの形状に応じて、スピーカー取り付け用スペーサーを使ってスピーカーをヘルメット内側のくぼみに取り付けてください。

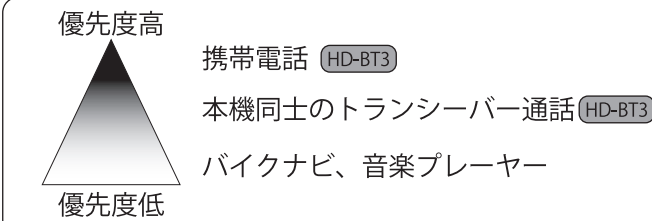


⑤ マイクを口元に移動させてください。 **HD-BT3**



5 使用する

本機では、「バイクナビや音楽プレーヤー」「本機同士のトランシーバー通話」「携帯電話」の順にスピーカーからの音声に優先順序が設けられています。



バイクナビ、音楽プレーヤーの音声を聞く

- ・本機および接続機器の電源が入っていればスピーカーから音声を聞くことができます。
- ・トランシーバーや携帯電話の着信があった場合は、そちらが優先されます。

本機同士のトランシーバー通話 **HD-BT3**

- ・本機のVOL+ ボタンとVOL- ボタンを同時に押すと、トランシーバー通話が開始されます。
- ・終了させる場合はもう一度、VOL+ ボタンとVOL- ボタンを同時に押してください。
- ・トランシーバー通話中に、携帯電話の着信があった場合は、携帯電話の着信が優先されます。

携帯電話 **HD-BT3**

- ・接続されている携帯電話に着信があると、スピーカーから着信音が聞こえます。
- ・本機の電源ボタンを押すと、電話に出ることができます。通話を終了する場合も同様に、本機の電源ボタンを押してください。通話先が先に通話を終了させた場合は、本機は自動的に待ち受け状態に戻ります。
- ・電源ボタンを短く2回押すと、直近の発信番号にリダイヤルできます。

※携帯電話の機種によっては、着信音のかわりに本機標準設定のピープ音が聞こえます。

■着信拒否をする

- ・トランシーバー通話中などで着信拒否をしたい場合は、「ピッ」という音が鳴るまでVOL- ボタンを押してください。着信が拒否されて電話が切れたあと、トランシーバー通話などに復帰します。

■携帯電話を操作して電話をかける

- ・「7 通話切替」をご覧ください。

6 音量調整

本機のVOL+ ボタンおよびVOL- ボタンで音量を調整できます。最大および最少レベルまで調整すると、「ピーッ」という音が鳴ります。

7 通話切替 **HD-BT3**

本機を使用して携帯電話の通話中に、降車などによりヘルメットをとって直接携帯電話のみで通話したい場合は、TALK ボタンを短く押してください。「ピッ」という音が鳴り、携帯電話のみでの通話に切り替わります。再度押すと、本機を使用しての通話に戻ります。

※携帯電話の機種によっては、TALK ボタンを再度押しても、通話が本機に戻らない場合があります。
※直接携帯電話のみで通話中は、傍受防止のために本機での通話はできなくなりますが、本機から離れた場合にTALK ボタンを押されると、通話を切り替えられてしまいますので、十分にご注意ください。
※TALK ボタンは通話中のみ有効です。前もって押しても機能しません。また、呼び出し中（鳴動中）も機能しません。
※直接携帯電話のみで通話中は、携帯電話側で通話を終了させることができます。
※通話終了後、本機はTALK ボタンを押す前の待ち受け状態に戻ります。

■携帯電話を操作して電話をかける

トランシーバー通話中の場合はVOL+ ボタンとVOL- ボタンを同時に押して、トランシーバー通話を終了させてください。携帯電話で発信操作をします。通話状態になったら、本機のTALK ボタンを押してください。携帯電話の音声为本機に切り替ります。

※運転中の携帯電話操作はおやめください。

こんなときは

青色LEDが2回点滅した

HD-BT3 が再接続に成功したことを示しています。

赤色LEDが2回点滅したあと、青色LEDが1回点滅した

HD-BT1 が再接続に成功したことを示しています。

青色LEDが10秒に1回点滅した

通信待ち受け中であることを示しています。

青色LEDが10秒に2回点滅した

通信待ち受け中であることを示しています。

青色LEDが5秒に1回点滅した

本機と接続機器が接続距離以上に離れたことを示しています。接続距離内でご使用ください。接続距離については、「主な仕様」をご覧ください。

赤色LEDが点灯した

本機同士でペアリングを行う際に、相手となる本機を探索中であることを示しています。ペアリングについては、「3 ペアリングをする」をご覧ください。

赤色・青色LEDが交互に点滅した

ペアリングを行う際に、本機が待ち受け状態であることを示します。手順に従って登録を完了させてください。

紫色LEDが10秒に1回点滅した

本機同士でトランシーバー通話中であることを示しています。

ペアリング情報をリセットしたい(**HD-BT3** のみ)

VOL+ ボタン、VOL- ボタンと電源ボタンを同時に6秒間押す。「ボーボー」という音が鳴り、本機の赤色LEDと青色LEDが5回点滅するとリセット完了です。

主な仕様

仕様項目	HD-BT1	HD-BT3
適合技術基準	小電力データ通信システム	
Bluetooth バージョン	2.1	
PIN コード	0000	
対応プロファイル	オーディオ受信： A2DP (SCMST 対応)	オーディオ受信： A2DP (SCMST 対応) トランシーバー通話： AGHFP 携帯電話通話： HFP/ HSP
RF レンジ	Class2	Class1 (トランシーバー通話), Class2 (携帯電話通話, オーディオ受信)
受信感度	-70dBm	
送信出力	最大 4dBm (Class2)	最大 20dBm (トランシーバー通話), 最大 4dBm (携帯電話通話, オーディオ受信)
変調方式	GFSK	
接続距離 (見通し距離)	10m (Class2)	100m (トランシーバー通話), 10m (携帯電話通話, オーディオ受信)
電源	単 4 形乾電池 2 本 (アルカリ乾電池推奨, 充電式乾電池使用可)	
使用可能時間 (※1) (アルカリ乾電池使用時)	連続使用時間 約 15 時間, 連続待機時間 約 200 時間	連続使用時間 約 15 時間, 連続待機時間 約 200 時間 (A2DP 機器のみ接続時) 連続使用時間 約 7.5 時間, 連続待機時間 約 120 時間 (HSP, HFP 機器接続時)
動作温度範囲	-10℃ ～ +50℃	
保管温度範囲	-40℃ ～ +75℃	
本体寸法 (mm)	41(W) X 87(H) X 26(D) (突起部・スピーカー部を除く)	41(W) X 250(H) X 26(D) (突起部・スピーカー部を除く)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

※1 使用可能時間は目安で、絶対保障値ではありません。電池の種類やメーカーなどの要因により、連続使用時間は変化します。

アフターサービスについて

●保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」を確認のうえ、保証内容をよくお読みになって大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中とのとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

■ユビテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  **0120-998-036**